



令和4年6月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1, 897億円（対前年同月比1.8%の増加、比率ベース：2カ月ぶりの増加）、輸入総額は1, 287億円（同36.7%の増加、17カ月連続の増加）であった。差引額は611億円（同33.8%の減少）の輸出超過で、3カ月連続の減少となった。

品目別では、輸出は「無機化合物」、「建設用・鉱山用機械」などは減少したもの、「原動機」、「科学光学機器」、「二輪自動車類」などが増加した。

輸入は「金属鉱及びくず」、「自動車の部分品」などは減少したものの、「液化天然ガス」、「魚介類及び同調製品」、「大豆」などが増加した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「EU」が増加、「アジア」は減少した。輸入は「アジア」、「アメリカ」、「EU」が増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1, 897億円	+1.8%	1, 287億円	+36.7%	611億円	▲33.8%
	2カ月ぶりの増加		17カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	346億円	+40.7%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	136億円	3.3倍
		(2) 科学光学機器	129億円	+23.0%			(2) 魚介類及び同調製品	190億円	+95.5%
		(3) 二輪自動車類	123億円	+15.7%			(3) 大豆	42億円	2.6倍
	減少品目	(1) 無機化合物	22億円	▲71.8%		減少品目	(1) 金属鉱及びくず	3億円	▲94.0%
		(2) 建設用・鉱山用機械	35億円	▲42.9%			(2) 自動車の部分品	15億円	▲44.2%
		(3) 重電機器	39億円	▲27.6%			(3) 無機化合物	3億円	▲73.8%
	主要地域 増減	アメリカ、EUが増加、アジアは減少				主要地域 増減	アジア、アメリカ、EUが増加		

（参考）ドルレートは、130.35円（前年同月比19.0%、20.85円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	13億円	+45.5%	40億円	+31.0%	▲26億円	+24.6%
	3ヵ月ぶりの増加		2ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	392百万円	全増	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	1,244百万円	+31.8%
		(2) 電気計測機器	264百万円	11倍			(2) パルプ	531百万円	+33.6%
		(3) 無機化合物	96百万円	+63.3%			(3) 魚介類及び同調製品	130百万円	2.9倍
	減少品目	(1) 写真用・映画用材料	300百万円	▲30.5%		減少品目	(1) 肥料	—	全減
		(2) ポンプ及び遠心分離機	5百万円	▲89.0%			(2) 有機化合物	359百万円	▲8.5%
		(3) 有機化合物	10百万円	▲81.4%			(3) 非金属鉱物製品	1百万円	▲98.3%
	主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少					アジア、アメリカ、EUが増加		

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	333億円	+11.0%	19億円	▲16.7%	313億円	+13.3%
	10ヵ月ぶりの増加		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	14,158百万円	+66.4%	輸入	増加品目	(1) 粗鉱物	99百万円	全増
		(2) 自動車の部分品	6,261百万円	+36.3%			(2) 木製建具及び建築用木工品	124百万円	+33.7%
		(3) 運動用具	623百万円	2.5倍			(3) 無機化合物	40百万円	3.0倍
	減少品目	(1) 無機化合物	1,741百万円	▲18.8%		減少品目	(1) 調製石油添加剤	—	全減
		(2) 電池	87百万円	▲81.4%			(2) 鉄鋼	908百万円	▲12.1%
		(3) 金属鉱及びくず	—	全減			(3) 染料・なめし剤及び着色剤	217百万円	▲7.2%
	主要地域 増減	アジアが増加、アメリカ、EUは減少					アジアが減少、EU、アメリカは増加		

4. 静岡空港

輸出入実績なし